

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 12 月 1 日

事業所名 コペルプラス センター北 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		工夫して、のびのびと活動できるようにしています。 レッスン中は、3 cmほどドアを開け、空気の通り道を作り、感染症予防対策を心掛け手掛けています。	
	②	職員の配置数は適切である	7		それぞれの指導員の得意分野を伝達・教示し合いながら、誰が入っても質の高いレッスンを提供できるよう、引継ぎを密にしています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		必要に応じて、スケジュールボードやタイムタイマー等を用いて、活動や時間の見通しが立つようにしています。また、掲示物など視覚的な情報量に配慮しています。運動スペース・個別レッスンスペースを分けています。	お子様の目線に立ち、随時見直していきます。 設備上、車いすの方だと、トイレは入退が難しいところがありますが、レッスンに感じては、個別のお部屋にマットを敷くなどの対応をさせていただいております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		10月より今まで目視のみで行っていた、安全点検（電源オフや、コードを抜く、ライター回収など）を毎日のチェック表を用いて確実にしております。	今後も、消毒や換気を徹底し、清潔で安全な環境であるよう、努めていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で話し合う機会を持ち、児童の個別支援計画を立て、目標を決めて療育しています。定期的にもモニタリングを行い、一人一人に合った支援を行っています。また、毎日お子さんの情報を共有し、よりよい支援に役立っています。 ・職員一人一人が専門性に関する成長課題を決め、半期毎 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、職員全員が参加するカンファレンスや療育に関する改善・工夫の時間を一日の中に確保し、よりよい支援を提供できるようにしていきます。

				に達成できているかを確認し、よりよい支援につなげています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	保護者向け評価表でいただいたご意見は、職員全員で話し合い、よりよい教室となるよう、努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、職員全員で共有し、事業所としての自己評価を行い、よりよい教室となるよう、話し合った結果を公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	<ul style="list-style-type: none"> コベルコンプライアンス委員会や親会社(株)クロスプラス監査部の評価の結果をもとに、行政の監査にも対応いたしました。(令和5年6月) 本教室は、コベルからの評価は、全ての項目において◎(よくできている)でした。横浜市の実地指導も、支援計画、不審者対策等、多岐に渡っての丁寧な仕事を評価されました。 	コベル本部の評価や親会社(株)クロスプラス監査の結果を生かすとともに、ガイドラインやマニュアルを活用し、定期的に自己評価をしていき、今後も引き続き、業務改善に努めます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	今年度から、自教室のみでなく、動画を通して、11教室共通の受講が可能となりました。本部が中心となり、保護者対応等の動画視聴など、定期的な研修を行っています。	業務が忙しい中ですが、職員の資質向上のため、時間を確保して研修を行うことができるようにしています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	お子様へのアセスメントを定期的に行い、発達段階を適切に把握します。同時に、保護者様への聞き取りを行い、ニーズを把握して、個別支援計画作成時に生かしています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	コベルのアセスメントボックスの教材を使っています。また、発達段階観察シートを使用しています。WISCやビネー等は検査ツールとして使用していませんが、利用者様よりご提出いただいたものを、療育へ活用しております。	発達段階観察シートで、定期的に成長の確認を行っています。

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		児童発達支援ガイドラインから、本人支援を中心に目標を設定しています。また、お子様の家庭や園での様子を伺いながら、日々の療育に生かすようにしています。	
---	--	---	--	--	--

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		個別支援計画に沿って、本人の興味関心も大切にしながら、課題設定を行っています。また、毎回の療育後、HUG システムで、目標への取り組みや状況を評価しています。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		基本の活動プログラムは、コペル本部が作成しています。また、お子様に合わせて個別支援計画に沿った課題を立案しています。さらに、集団療育では、お子様の実態に合わせての取り組みをチームで検討して行います。	個別支援課題については、支援計画作成時や、日々のカンファレンスの際に案を出し合っています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		コペルプラスは、毎月教材が変わるシステムです。また、個別支援課題を、お子様に合わせて工夫して行います。	保護者様と相談したり、職員で話し合ったりして、工夫しています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		集団療育で、お子様に見つかった課題を、個別療育で補うことで、効果が高まります。個別活動で SST などを行い、集団活動に生かすこともできています。	コロナ感染症予防のため、マスクや換気・消毒などの感染予防に気を付けながら、集団療育を行っています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝・昼のカンファレンスで、前回の療育担当者から、お子様の様子や課題・保護者様からの要望や連絡などを確認し、職員全体に共通理解をしています。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		気付いたことや、保護者からの連絡の共有にもれがないようにしています。	連絡ノートに記入し、全員が見られるようにしています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎回の療育後、HUG システムで、その日の療育内容や目標への取り組み・状況を評価して記入しています。翌日までには記入が終わるようにしています。	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		モニタリングでは、職員とのカンファレンスや保護者との話し合いを定期的に行い、成長に合わせて目標設定をしています。	モニタリングの内容は、記録しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		相談支援事業所と連絡を取り合っています。	昨年度に引き続き、コロナ感染症予防の観点から、実際には何うことはできず、電話での対応で行いました。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		療育センターや相談支援事業所と電話などで連絡を取り合っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医療ではありませんが、療育センターの作業療法士の先生との取り組みを拝察し、日々の療育に活かしています。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		ご希望される方には、全員行っています。支援内容や今後に必要なこと等を、書面にまとめてお渡ししています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		ご希望される方には、全員行っています。話し合いをもった後、支援内容や今後に必要なこと等を、書面にまとめてお渡ししています。今年度は、当教室の言語聴覚士が、支援学校へ、言語指導についての助言を行いました。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		都筑区自立支援協議会で、社協・特別支援学校・放課後デイや児童発達支援事業所の方々と支援について、情報交換をしました。	自立支援協議会全大会では、コロナ感染予防の観点で、ZOOMでの情報交換でしたが、研修ができたので、よかったと思います。子ども部会では、久しぶりの対面での会だったので、情報交換がしやすく、とても参考になりました。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		都筑区自立支援協議会で、社協・特別支援学校・放課後デイや児童発達支援事業所の方々と支援について、情報交換をしました。また、子ども部会では、児童発達支援事業所・放課後デイでの様子や課題についての勉強会を行いました。	今後も、積極的に参加し、他施設のよいところを取り入れたいと思います。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		フィードバック時に話し合ったり、お子様の療育の時間に、保護者様と事業所内相談支援を行ったりして、お子様の状況等を話し合い、共通理解を図り、よりよい成長につながるようしています。	もっと気軽にお声がけしていただけるよう、工夫してまいります。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	7		昨年度より開始した、ペアレントトレーニングを今年も2回に分けて実施いたします。	時間に都合がつかなかった方には、時間設定を変えるなどして、ペアレントトレーニングを受講していただけるよう、工夫していきたいと思います。また、今後も、フィードバック時や、お子様の療育の時間に、保護者様へお子様への接し方の助言等をさせていただきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に、内容について説明し、理解・納得していただいた上で、署名押印していただいています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		丁寧に説明をさせていただき、納得していただいた上で、署名押印していただいています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		フィードバック時に話し合ったり、お子様の療育の時間に、保護者様と事業所内相談支援を行ったりして、保護者様の子育ての悩み等に対する助言と支援を行っています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援している		7		今後、月末時のお子様がコミュニケーショントレーニングを行う際に、別教室での保護者会開催の検討中です。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		その都度、迅速にかつ丁寧に対応させていただいています。	「お客様の声」のアンケート box も定期的にチェックしています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		定期的に、ブログで事業所の様子などを発信しております。また、LINE の活用もしております。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7		細心の注意を払っております。鍵のかかる書庫で、厳重に管理しております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		マニュアルを策定し、職員に周知徹底をしています。また、保護者様には、契約時に説明しています。防災訓練には、お子様・保護者様にもご参加いただき、避難の仕方や避難場所などを説明させていただいております。嘔吐時の対応訓練も実施しております。	今後も、皆様の安全のため、周知徹底していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		防災訓練には、保護者様にもご参加いただき、ヘルメットのかぶり方・避難の仕方や避難場所などを説明させていただいております。職員で嘔吐時の対応訓練も実施しております。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		アセスメントシートに記入していただき、さらに病歴などを保護者様に伺っています。	内容は、職員で共通理解し、緊急時には対応できるようにしています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食べ物の提供はしておらず、教室では水・ミルク・お茶以外の飲食を禁止しています。アレルギーの有無については、アセスメントシートに記入していただき、さらに保護者様に伺っています。	アセスメントシートに記入していただいているアレルギーを確認し、小麦粘土などの教材を扱う際は、配慮しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットが起こったら、報告書を作成し、内容を職員で共有し、改善策を話し合ってその後に生かして行っています。職員で共通理解を図っています。	コペル本部や弊社全体に報告し、全体で共有しています。

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		横浜市の研修会・コペル本部の研修会に参加したり、虐待防止マニュアルを元にしたりして、研修を行い、虐待防止について理解を深め、対応を話し合ったり再確認したりしています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		契約時に説明するとともに、了承を取り、書面に残しています。事例について、横浜市にも相談しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。